オール沖縄・日本共産党衆議院議員　沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.25

〔九州沖縄ブロック事務所沖縄分室〕
〒900-0016 那覇市前島3-1-17
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

〔国会事務所〕〒100-8981 千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1107号室
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626

沖縄戦の現場を保存し後世に 遺骨収集の現場を視察

赤嶺政賢議員は8月17日、沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」の具志堅隆松代表の案内で、沖縄戦当時の全身遺骨が見つかった糸満市東辺名の現場を視察しました。

遺骨収集の現場を視察する赤嶺議員ら

木々をかき分けながら現場に到着すると、具志堅さんは「戦争で亡くなられた人の恐怖、絶望、苦痛を多くの人に考えていただき、二度と戦争を起こしてはいけないことが伝わるようにしたいと思っています」とご遺骨に語りかけました。

骨の状態や軍靴の底が残っていないことから、住民から動員した防衛隊員の可能性があると言います。近くの斜面では、別の兵士の遺骨も見つかりました。周辺では、おじいさんと子どもの遺骨も見つかっており、軍民混在の戦場だったことがわかります。

具志堅さんは、見つかった遺骨はDNA鑑定を経て遺族に届ける努力を行いつつ、現場はレプリカ(模型)を置くなどして保存し、平和学習の場として後世に残したいと話しました。

視察には、日本共産党の前田潤糸満市議、上原トクイチロー同市議予定候補、真栄里保豊見城市議も同行しました。

戦後80年 終戦記念日にあたって

衆議院議員　赤嶺政賢

今年も8月22日に学童疎開船対馬丸の慰霊祭が行われた。米潜水艦の魚雷攻撃によって、判明しているだけで学童784人を含む1484人が犠牲になった。

当時政府は老幼婦女子10万人の疎開計画を立てた。遺族連合会の代表は挨拶で「日本軍の食糧確保のための疎開」と述べた。

生存者の一人、平良啓子さんは大宜味村9条の会のメンバーで、語り部として活動していた。当時国民学校4年生で、6日間漂流し救助された。

彼女は対馬丸の悲劇を語るとき、必ず憲法9条の大切さを訴えていた。改憲の動きにも毅然として立ち向かい、高江や辺野古の闘いにも積極的に関わっていた。慰霊祭に参加しながら、2年前に亡くなられた平良さんの活動を思い、9条を守り抜く決意を新たにした。

まごチャンネル

野球カード集めに夢中になっている孫に「はだしのゲン」をプレゼントした▼ところが、一向に読み始めようとしない。しびれを切らしてせっつく。3巻までを読み終えるのに長い時間がかかったが、4巻目からは夢中になり、一気に全10巻を読みきった▼「これは本当にあった話なの」と聞いてきた。そして、同じクラスの友だちにも読ませたいと言いだした▼8月6日の広島の平和式典も熱心に視聴した。「あれは焼け残ったドームだよね」とポツリ▼今度は、広島や長崎の原爆資料館に一緒に行ける日を心待ちにしている。

陸自宮古島司令が市民恫喝 事実認め謝罪を 「うりずんの会」が防衛局に抗議要請

陸上自衛隊宮古島駐屯地司令が施設外の訓練を監視していた市民を恫喝した問題で、県選出野党国会議員でつくる「うりずんの会」は8月22日、防衛省沖縄防衛局を訪れ、発言の撤回と市民への謝罪、関係者の処分などを要請しました。

抗議要請する「うりずんの会」の議員ら

この問題は、同6日早朝、徒歩訓練中に公共施設の駐車場で休憩していた新隊員らに市民が拡声器を使って静かに呼びかけたところ、比嘉隼人司令が「（駐車場利用の許可を）取ってこい」などと一方的にまくし立て、恫喝したもの。比嘉司令は同19日、市民らとの面談に応じましたが、「威圧的だと捉えられたのなら私の本意ではない」と受け手の捉え方の問題にすりかえ、恫喝の事実を認めていません。

応対した村井勝局長は比嘉司令の弁明を読み上げ、「要請内容は防衛局の担当業務ではない」などと発言。赤嶺政賢議員は「静かに対応している市民に、実力組織である自衛隊が、虚偽の説明までして横暴勝手をしている。知らぬ存ぜぬでは通らない」と批判しました。

赤嶺議員の「動画は見たのか」との追及に、村井局長は「確認していない」と回答。高良沙哉議員がスマホで動画を再生して感想を求めましたが、「個人的な感想は控えたい」と回答を避けました。

「みんなで勝ち取った平和の一議席」 県民大行動で勝利喜び合う

「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」は8月2日、辺野古のゲート前で県民大行動を行い、約600人が結集しました。先の参議院議員選挙で初当選した高良沙哉議員も参加。熱烈な歓迎が相次ぎ、共に勝利を喜び合いました。

「新基地建設を断念させよう」と誓い合う参加者ら

高良議員は、辺野古の問題でたたかってきた人たちとともに選挙戦をたたかったことを実感したと挨拶。「みんなで勝ち取った平和の一議席。重みを背負って沖縄の声をしっかり届けていく」と訴えると、大きな拍手が起こりました。

集会には、赤嶺政賢議員ら「うりずんの会」の国会議員がそろって参加。玉城デニー知事のメッセージが紹介されました。

この間の活動

- ■沖縄県から来年度の沖縄振興予算、JAおきなわからゆがふ製糖工場の問題で要請を受ける（8月3日）
- ■沖縄県から第32軍司令部壕の保存・公開に向けた要請・説明を受ける（同5日）
- ■対馬丸記念館を訪問（同6日）
- ■「オール沖縄会議」の県警への抗議記者会見に同席、不屈館を訪問（同8日）
- ■石垣市長選の出発式に参加、街頭演説（同10日）
- ■比嘉瑞己県議、古堅茂治、前田千尋両那覇市議らとともに終戦記念日にあたっての日本共産党街頭演説（同15日）
- ■第32軍司令部壕の現地視察、タカラさちか参議院選挙総括会議に出席（同19日）
- ■衆議院沖縄北方特別委員会の委員派遣で沖縄視察（同20日～21日）
- ■対馬丸慰霊祭に出席（同22日）

- ■我如古イチロー那覇市議のつどいに参加（同23日）
- ■第60回しんぶん赤旗全国囲碁・将棋大会沖縄県大会で挨拶、日本共産党中部地区委員会の永年党員の表彰式で挨拶（同24日）